

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students

プロフィール (Profile)

氏名 (Name) 千田小春アリシア
所属 (School) 生命環境科学域 応用生命科学類
学年 (Grade) 1年

留学先 (Name of overseas institution)
Monash College

留学期間 (study abroad period)
2021/8/16~2021/9/3

記入日 (Date) 2021/9/14



留学レポート Study Abroad Report

<参加理由>

私は Global Communication for Future Leaders 2021 August (以下 GCFL) に参加しました。高校時代よりも時間の取れる夏休みに何かの活動に取り組みたいと考えていたところ、国際交流グループからオンライン留学の案内を受け取りました。チャレンジ奨励金で (私が参加したプログラムの場合) 参加費の半額が支給される点も自分の決意を固めた大きな要因でした。

英語を「学ぶ」よりも「使う」留学プログラムに参加したいと考えていたところ見つけたのが GCFL でした。第三言語習得のために語学初学者のためのプログラムにも目を通しましたが、オンライン説明会を経て、「オンライン下の学習」においてより自分の糧になりそうなプログラムが GCFL でした。

海外の方々とディスカッションを出来る機会が多く詰めこまれているだけでなく、もともと興味があった SDGs に関連したトピックが学習内容として取り上げられており、これからの人生にとっても役立ちそうだと感じました。

<体験内容・感想>

プログラムの開催形式は平日毎日 4 時間の 3 週間で、授業外の時間に任意で参加できる数多くのアクティビティが設置されていました。オーストラリアの大学主催のプログラムだったので時差も小さく参加しやすかったです。私は可能な限り多くのアクティビティに参加したので、1 日 4 時間といえど、かなり過密なスケジュールでした。オンラインだからこそ、アクティビティ間に休憩時間がないこともありましたが、充実した楽しい日々を過ごしました。各週において、Sustainable Development、Environmental Crisis、そして Media&Communication を主テーマとして学習を行いました。

学習スタイルは事前に認識していた通り、非常にインタラクティブで、授業内に数多くのディスカッションが設けられていました。テーマに沿った長文から、記事、Audio、TED talk など、様々な教材を用いて学びました。単語力については Quizlet などゲーム形式でみんなと楽しく競うことが出来ました。グループワークによりプレゼンテーションなど協力的な取り組みもあり、オンライン状況下でもクラスメイトとしっかり交流することが出来ました。

授業で一番感動したのは、教材の充実さです。オンラインであることを最大限に活かし、各生徒に配布された大学アカウントから、Google Workspace や大学の教育システムにアクセスすることが出来ました。Google Drive の共有フォルダでは、非常に利便性の高い毎授業ごとの Lesson Plan が作成されていました。毎日の授業で用いる Worksheet や Readings のコピーを即座に作れるようなリンクや動画のリンクが

分かりやすく張られており、デザインも独自のものでとても見やすかったです。宿題を含めたすべての授業内容を包括していたので先生の説明が聞き取れなくてもしっかりと授業について行ける仕組みになっていたのが良かったと思います。宿題はそこまで出ず、負担になることはありませんでした。

大学メールには高頻度に授業外アクティビティの案内が届きました。オンライン短期留学生を対象としたものだけでなく、Monash College の留学生なども参加するようなアクティビティもあり、交流を増やすことができとても楽しかったです。私はスケジュール的に参加できたのは Counseling、Pronunciation、Communicating through Music、その他多種の講演などでした。強く印象に残っているのは Monash College の学生団体が主催した Global Village で、ここでは日本を紹介するセッションを同じく GCFL 参加者の日本人たちと主催しました。海外の子たちに向けた企画やプレゼンテーションをメンバーと切磋琢磨して作り上げる経験をオンラインで出来たことに強く自信が付きました。他にも、Monash College の日本語学科の授業に日本語ネイティブとして参加するプログラムでは、現地の生徒の日本語に対するパッションに強く刺激を受けました。日本語を勉強している現地の生徒とパートナーを組んで、自由にコミュニケーションを取ることが出来る Online Conversation Partner Program (以下 OCP) というものもありました。GCFL が修了した後もコミュニケーションを続けることができます。私のペアは、お互いに言語を助け合いながら、毎週決めたトピックについて楽しく会話をしており、英語の勉強に関わらず貴重な海外の友達を作ることが出来たのが何より嬉しかったです。

授業担当者は半週ごとに交代だったのですが、先生によって授業スタイルが少しずつ異なっていました。それぞれの先生の良さを味わうことが出来てよかったです。参加する期間は自分の都合に合わせて選ぶことが出来ましたが、早い時期に参加した方が夏休み期間の早い海外の子たちが多く、より多くの授業外アクティビティにも参加できると思うのでお勧めです。

今回の GCFL は、緊急事態宣言中で中々大学の友達と外遊びすることも難しかったこの夏休みを、有意義にしてくれた実にありがたいプログラムでした。最初はオンラインで新しい人と関わることに少し不安もありましたが、非常にインタラクティブな授業構成のおかげで様々な魅力を持った生徒と関わる事が出来ました。授業内容の充実さだけでなく、なんといっても GCFL の魅力は授業外アクティビティにあると思います。Global Village をきっかけに私も Monash College の学生団体に加入し、その他様々なアクティビティに参加することもできています。OCP のペアとはお互いの文化や日常生活を教えたりして、楽しく連絡を取り合っています。この夏、非常に多くの機会を私に与えてくれたのが GCFL でした。参加して本当に良かったと強く感じております。